

PRESS RELEASE

2023.12.12

公益財団法人ソニー音楽財団
(Sony Music Foundation)

人気 YouTuber ピアニスト石井琢磨が川瀬賢太郎&都響と共演する
「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」
入場チケット完売につき、ライブ配信&アーカイブ配信決定！

公益財団法人ソニー音楽財団（所在地：東京都千代田区、理事長：水野道訓）は、2024年1月28日（日）にサントリーホールで開催する「第67回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート～時代を超えた傑作たち～」のインターネットライブ配信及びアーカイブ配信を実施することを決定しました。



当公演は、YouTube チャンネル総再生回数 8,300 万回、登録者数が 24 万人を超える人気 YouTuber ピアニスト石井琢磨をソリストとして迎え、指揮者川瀬賢太郎と、東京都交響楽団との初共演が注目のコンサートです。石井琢磨がソリストを務めるコンサート前半はラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を、後半は川瀬賢太郎と東京都交響楽団のコンビによるベートーヴェンの交響曲第5番「運命」を演奏、あらゆる時代を超えて愛され続けるふたつの傑作をお届けします。

好評により入場チケットが完売となったことを受けて、全国どこからでもお楽しみいただけるよう、新たにインターネットライブ配信を実施することを決定しました。

視聴券は12月12日10時より販売開始いたします。また配信限定で石井琢磨による終演後のアフタートークをお楽しみいただけます。

アーカイブ配信付きにて、公演終了後の再配信開始日より2月7日（水）まで、何度でもご観覧いただけます。尚、この配信視聴を含む収益の一部は日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入・整備資金に充てられます。

毎年恒例の当シリーズは、クラシック音楽の王道曲・人気曲の本格的な演奏を手頃な値段で楽しんでいただきたい

がら、チャリティにも参加できるコンサートです。HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために1990年にスタートし、今回で67回目の開催となります。

<2022年度(第66回)までの累計寄付金額：114,405,892円>

【公演概要】

◆タイトル

第67回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート ～時代を超えた傑作たち～

◆公演日時

2024年1月28日(日)14:00開演 (13:15開場)

◆会場

サントリーホール 大ホール (東京都港区赤坂1-13-1)

◆配信チケット情報

配信視聴券：2,000円 (税込)

イープラス (<https://eplus.jp/charity67/>) のみでの取り扱いとなります。

アーカイブ配信：公演終了後の再配信開始日から2024年2月7日 (木) 23:59まで

配信限定特典：ピアニスト石井琢磨によるアフタートーク (終演後)

販売期間：2023年12月12日 (火) 10:00より 2024年1月29日 (月) 23:59まで

スタンプ&ギフト機能つき

※アーカイブ配信は、ライブ配信後に再配信処理を行いますので、ご覧いただけない期間がございます。再配信開始日については2月1日 (木) を予定しておりますが、詳細は公式ウェブサイトにてご案内いたします。

※スタンプ&ギフトについての詳細はこちら：https://eplus.jp/s/page/guide/streamingplus-serviceguide/images/stamp_gift.pdf

※スタンプ&ギフト利用券は、チケットとセットでの事前販売、または公演中に視聴画面からご購入いただけます。

※スタンプ&ギフトによる収益の一部も寄付の対象となります。

※一般入場チケットは完売いたしました。

◆出演

川瀬賢太郎 (指揮)

石井琢磨 (ピアノ) *

東京都交響楽団 (管弦楽)

※プロフィール：別資料

◆演奏予定曲

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番* ハ短調 Op.18

ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」 ハ短調 Op.67

※やむを得ない理由により、曲目・演奏者など公演内容が変更となる場合がございます。

◆主催

公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)

◆共催

公益財団法人東京都交響楽団

◆後援

日本赤十字社

◆お問い合わせ

公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation) 03-3515-5261 (平日10:00~18:00)

【財団概要】

名称：公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)

理事長：水野道訓

設立：1984年10月2日

所在地：〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル

URL：<https://www.smf.or.jp/>

第67回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート

2024年1月28日（日）14:00開演 サントリーホール 大ホール

【出演者プロフィール】

●川瀬 賢太郎（指揮） Kentaro KAWASE, Conductor



1984年東京生まれ。

2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）を卒業。これまでに指揮を広上淳一などの各氏に師事。2006年10月、東京国際音楽コンクール＜指揮＞において2位（最高位）に入賞。2011年4月には名古屋フィル指揮者に就任、2014年4月より神奈川フィル常任指揮者に就任（2022年3月末まで）。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。

オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、リアの物語」、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」、ヴェルディ作曲「アイダ」などを指揮、目覚ましい活躍を遂げている。オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞などを受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻（指揮）特任講師。2023年4月より名古屋フィル第6代音楽監督に就任。

●石井 琢磨（ピアノ） Takuma ISHII, Piano



1989年、徳島県鳴門市生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経てウィーン国立音楽大学ピアノ科に入学、同大学ピアノ科修士課程を満場一致の最優秀で卒業。ポストグラデュアーレコース修了。オーソドックスな古き良きクラシック音楽に軸を置きながら、「クラシックをより身近に」をコンセプトにした動画配信も行う新しいタイプのピアニストとして活動している。2016年ジョルジュ・エネスク国際コンクール(ルーマニア・ブカレスト)ピアノ部門第2位受賞。1958年から開催され、ラドゥ・ルプーやエリザベス・レオンスカヤなどの世界的ピアニストが覇者として名を連ねる伝統あるコンクール史上、日本人ピアニスト初入賞の快挙。国内外で演奏活動を行う他、“TAKU-音 TV たくおん”名義でYoutubeチャンネルを開設。総再生回数は8,300万回超え。チャンネル登録者数も24万人を超えて、なお増え続けている。2ndアルバム「Scene」がオリコン、Amazon、楽天等のクラシック部門にて第1位を独占。そしてポップス、アニソン等も含むオリコン総合部門においてクラシックCDとしては異例の

第3位にランクイン。CD発売記念全国ツアー「Scene」オペラシティコンサートホール東京公演東京公演、そしてサントリーホール大ホール追加公演はどちらも発売3分で完売になるなど、今最もチケットが手に入らないピアニストの1人。MBSラジオにてメゾン・ド・ミュージック「たくま式ラジオ」のパーソナリティを務める。ヤマハ「月刊ピアノ」にて「たくおんEssay」連載中。「楽器店大賞2023」ピアニスト部門大賞受賞。第15回とくしま芸術文化小奨励賞受賞。

●東京都交響楽団（管弦楽） Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。

現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。また、ソロ・コンサートマスターを矢部達哉、コンサートマスターを山本友重が務めている。東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場での定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏（大野和士指揮／録音）を務めた。